

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎看護実践論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限	後期	教室名	1A・1B 教室・実習室
担 当 教 員	岡田千鶴	実務経験とその関連資格	国立病院機構で36年勤務、20年、管理職、最終は看護部長職□副学校長として当校で10年の教育経験		

### 《授業科目における学習内容》

①「看護実践」に必要な知識・技術・能力を理解する。②事例をとおして看護場面における対象の病態及び状況の理解する。③必要な援助計画を立案し、模擬実践を体験する。模擬実践の評価は学生間の相互評価の手法を用いる④自己評価・他者評価を踏まえて適切な看護実践に向けた今後の自己の課題を明確にする。

### 《成績評価の方法と基準》

平常点15点、評価対象は①課題未提出を減点対象とする。

筆記試験85点、

### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

デジタルナーシンググラフィカ 1巻 解剖生理学P76～、デジタルナーシンググラフィカ7巻呼吸機能障害/循環器障害P77～、デジタルナーシンググラフィカ20巻基礎看護技術Ⅱ、デジタルナーシンググラフィカEX1巻

### 《授業外における学習方法》

課題学習

模擬実践の内容で技術に関する練習

リフレクションシートや課題レポートは提出期限を厳守

### 《履修に当たっての留意点》

看護実践の構成要素は知識・技術・態度である。実践では看護技術の選択と実践方法はそれぞれの看護師の判断が伴う。身体的な問題では対象の解剖生理を含む病態から状況判断が必要となる。その時フィジカルアセスメントを含む観察技術が必要となる。次に患者の問題解決のための看護実践技術が必要である。提供する看護技術の根幹は「患者の尊厳を大切にする」という看護者の倫理的態度である。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	シラバスが理解できる。看護師に求められる実践能力がわかる	教科書、タブレット	厚生労働省の示す看護師に求められる実践能力と構成要素から当校の科目から実践力についてどこまで学んできたか理解する
	各コマにおける授業予定	看護実践力の何を学び、これから習得する内容は何があるか？看護実践におけるキーワードを見出す		
第2回 演習形式	授業を通じての到達目標	事例の病態と対象の顕在する問題の理解	課題 教科書、タブレット	解剖整理学P81の図の説明ができる
	各コマにおける授業予定	体温の調節のメカニズムが理解できる。発熱時(悪寒戦慄時・高熱時・体温下降時)の病態を解剖整理の理解を含めて学習する		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	発熱時の援助計画の立案ができる①(GW)	援助計画 教科書、タブレット	援助計画を立案して受講すること GW
	各コマにおける授業予定	悪寒戦慄時、高熱時、解熱時それぞれの看護計画を立案する		
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬実践を行い、援助計画の追加修正が出来る	援助計画、 教科書、 タブレット	立案した援助計画を持って受講すること 技術の経験：温罨法・冷罨法・安楽な体位・環境調整等
	各コマにおける授業予定	【演習：実習室】 立案した援助計画をもとに、技術ごとで模擬実践を行う 発熱のある患者の援助計画を修正する		
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬実践を行い、援助計画の追加修正が出来る	援助計画、 教科書、 タブレット リフレクション用紙	立案した援助計画を持って受講すること 技術の経験：温罨法・冷罨法・安楽な体位・環境調整等
	各コマにおける授業予定	【演習：実習室】 立案した援助計画をもとに、技術ごとで模擬実践を行う 発熱のある患者の看護計画を修正する		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回 演習形式	授業を通しての到達目標	発熱時(悪寒戦慄・高熱)の模擬実践を行い、相互評価ができる	教科書、タブレット リフレクション用紙 自己評価表 他者評価表	修正した援助計画を持つて受講すること 技術の経験:安楽な体位・
	各コマにおける授業予定	【演習:実習室】 立案した援助計画をもとに、模擬実践を行う 発熱のある患者の看護計画を修正する		
第7回 講義形式	授業を通しての到達目標	リフレクション 事例2をアセスメントする	課題 教科書、タブレット	課題作成
	各コマにおける授業予定	事例(COPD)の患者の場面		
第8回 講義形式	授業を通しての到達目標	事例2をアセスメントする	課題 教科書、タブレット	課題をもって受講する
	各コマにおける授業予定	呼吸困難出現及び意識レベルの低下の状況をアセスメントする		
第9回 講義形式	授業を通しての到達目標	援助計画立案	援助計画 教科書、タブレット	援助計画をもって受講するGW
	各コマにおける授業予定	呼吸困難出現、意識レベルの低下の2つの場面の援助計画を立案する		
第10回 講義形式	授業を通しての到達目標	援助計画立案	援助計画 教科書、タブレット リフレクション用紙	援助計画をもって受講するGW
	各コマにおける授業予定	呼吸困難出現、意識レベルの低下の2つの場面の援助計画を立案する		
第11回 講義形式	授業を通しての到達目標	模擬実践を行い、援助計画の追加修正が出来る①	援助計画、教科書、タブレット	立案した援助計画を持つて受講すること 技術の経験:VS測定・安全安楽な体位・移動・報告
	各コマにおける授業予定	【演習:実習室】 立案した援助計画をもとに、技術ごとで模擬実践を行う 援助計画を修正する		
第12回 講義形式	授業を通しての到達目標	発熱時に提供する看護の技術ごとの模擬実践を行い、看護計画の追加修正が出来る①	援助計画、教科書、タブレット リフレクション用紙	立案した援助計画を持つて受講すること 技術の経験:VS測定・安全安楽な体位・移動・報告
	各コマにおける授業予定	【演習:実習室】 立案した援助計画をもとに、技術ごとで模擬実践を行う 発熱のある患者の看護計画を修正する		
第13回 講義形式	授業を通しての到達目標	COPD患者の模擬実践を行い、相互評価ができる	教科書、タブレット リフレクション 自己評価表 他者評価表	立案した援助計画を持つて受講すること 技術の経験:VS測定・安全安楽な体位・移動・環境調整・報告
	各コマにおける授業予定	【演習:実習室】 呼吸困難出現、意識レベルの低下の2つの場面の立案した援助計画をもとに、模擬実践を行う 発熱のある患者の看護計画を修正する		
第14回 講義形式	授業を通しての到達目標	COPD患者の模擬実践を行い、相互評価ができる	教科書、タブレット リフレクション 自己評価表 他者評価表	立案した援助計画を持つて受講すること 技術の経験:VS測定・安全安楽な体位・移動・環境調整・報告
	各コマにおける授業予定	【演習:実習室】 呼吸困難出現、意識レベルの低下の2つの場面の立案した援助計画をもとに、模擬実践を行う 発熱のある患者の看護計画を修正する		
第15回 講義形式	授業を通しての到達目標	リフレクション 終講試験		
	各コマにおける授業予定	筆記試験		